



2021年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年7月30日
東

上場会社名 大日本住友製薬株式会社 上場取引所
 コード番号 4506 URL <https://www.ds-pharma.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 野村 博
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員 コーポレート コミュニケーション担当（氏名） 樋口 敦子（TEL）03-5159-3300
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	133,857	13.9	24,367	9.4	23,271	△42.4	15,566	132.2	18,259	172.4	10,320	—
2020年3月期第1四半期	117,484	1.4	22,275	20.9	40,423	155.6	6,703	△56.0	6,703	△56.0	△1,154	—

（参考） 税引前四半期利益 2021年3月期第1四半期 21,979百万円 2020年3月期第1四半期 36,908百万円

※コア営業利益は、営業利益から当社が定めた非経常的な原因による損益（調整項目）を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	45.96	—
2020年3月期第1四半期	16.87	—

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	1,236,188	636,794	541,036	43.8	1,361.80
2020年3月期	1,252,878	632,105	529,485	42.3	1,332.72

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	14.00	—	14.00	28.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	495,000	2.5	33,000	△54.2	24,000	△71.2	△12,000	—	9,000	△77.9	22.65

（参考） 税引前利益 通期 23,000百万円

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1四半期	397,900,154株	2020年3月期	397,900,154株
② 期末自己株式数	2021年3月期1四半期	605,172株	2020年3月期	605,038株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1四半期	397,295,014株	2020年3月期1四半期	397,296,126株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料には、当社グループに関する業績その他の予想、見通し、目標、計画その他の将来に関する事項が含まれていません。これらの事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定、見積り、見通しその他の判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております。したがって、その後のさまざまな要因により、予想・計画などが記載どおりに実現しない可能性や、実際の業績、開発の成否・進捗その他の見通しなどが記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件などにつきましては、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・四半期決算短信の開示とあわせて、四半期決算補足資料および四半期決算カンファレンスコール説明資料を開示しております。
- ・当社は、2020年7月30日(木)に機関投資家・アナリスト向けに、第1四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。このカンファレンスコールの音声については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、国際会計基準（以下「IFRS」）に準拠した連結財務諸表を開示しております。

なお、文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

(業績管理指標「コア営業利益」について)

当社グループでは、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものとします。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

当第1四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	増減	増減率 (%)
売上収益	1,175	1,339	164	13.9
コア営業利益	223	244	21	9.4
営業利益	404	233	△172	△42.4
税引前四半期利益	369	220	△149	△40.4
四半期利益	67	156	89	132.2
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	67	183	116	172.4

■ 売上収益は1,339億円（前年同四半期比13.9%増）となりました。

日本セグメントは、昨年度に販売を開始した2型糖尿病治療剤「エクア」および「エクメット」の寄与などにより増収となりました。また、北米セグメントにおいても、当社グループの収益の柱である非定型抗精神病薬「ラツード」の売上が増加したことなどにより増収となりました。

■ コア営業利益は244億円（前年同四半期比9.4%増）となりました。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、販売関連費用等が低調に推移するなか、昨年度に取得したスミトバント社およびその傘下の子会社の費用が認識されたことにより、コアベースの販売費及び一般管理費ならびに研究開発費は増加しましたが、増収による売上総利益の増加が大きく、コア営業利益は増益となりました。

■ 営業利益は233億円（前年同四半期比42.4%減）となりました。

コア営業利益は増益となりましたが、営業利益は減益に転じました。前年同四半期には、ナパブカシンの膀胱がん患者を対象としたフェーズ3試験の中止決定に伴い、条件付対価公正価値が減少し、多額の費用戻入が発生しましたが、当第1四半期連結累計期間にはこのような要因はないことから、営業利益は減少することとなりました。

■ 税引前四半期利益は220億円（前年同四半期比40.4%減）となりました。

支払利息や、円高基調により当社が保有する外貨建て金融資産に生じた為替差損などの金融費用が金融収益を上回ったため、税引前四半期利益は営業利益に比べ減少しました。

■ 四半期利益は156億円（前年同四半期比132.2%増）となりました。

税引前四半期利益は減益となりましたが、法人所得税が大きく減少し、四半期利益は増益に転じました。前年同四半期は、ナパブカシンの膀胱がん患者を対象としたフェーズ3試験の中止決定などに伴い、米国において認識していた繰延税金資産の取崩しを行いました。当第1四半期連結累計期間にはこのような要因はないことから、法人所得税が大きく減少することとなりました。

■ 親会社の所有者に帰属する四半期利益は183億円（前年同四半期比172.4%増）となりました。

スミトバント社傘下の非支配持分を有する子会社の業績が損失となったため、四半期利益から非支配持分に帰属する損失額を控除した親会社の所有者に帰属する四半期利益は、四半期利益に比べ増加しました。

なお、親会社の所有者に帰属する四半期利益の売上収益に対する比率は13.6%となりました。

（セグメント業績指標「コアセグメント利益」について）

セグメント別の業績では、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しております。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

<日本>

■ 売上収益は397億円（前年同四半期比21.8%増）となりました。

「エクア」および「エクメット」の増収に加え、2型糖尿病治療剤「トルリシティ」の売上が伸長したことや「ラツード」を新たに発売したことなどにより、増収となりました。

■ コアセグメント利益は80億円（前年同四半期比10.6%増）となりました。

販売関連費用など販売費及び一般管理費が減少したことにより、増益となりました。

<北米>

■ 売上収益は741億円（前年同四半期比12.3%増）となりました。

「ラツード」に加え、抗てんかん剤「アプティオム」などの売上が伸長したことや、スミトバント社傘下のマイオバント社において、ライセンス契約に基づき受領した契約一時金等の一部を売上として認識したことにより、増収となりました。

■ コアセグメント利益は359億円（前年同四半期比21.7%増）となりました。

スミトバント社および傘下の子会社で発生した費用などにより販売費及び一般管理費は増加しましたが、増収による売上総利益の増加が大きく、増益となりました。

<中国>

■ 売上収益は51億円（前年同四半期比25.0%減）となりました。

カルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」の売上が減少したことにより、減収となりました。

■ コアセグメント利益は27億円（前年同四半期比29.0%減）となりました。

販売費及び一般管理費は減少しましたが、減収による売上総利益の減少が大きく、減益となりました。

<海外その他>

■ 売上収益は55億円（前年同四半期比123.0%増）となりました。

輸出が増加したことに加え、東南アジアにおける「メロペン」の売上増加などにより、大幅な増収となりました。

■ コアセグメント利益は24億円（前年同四半期比162.1%増）となりました。

増収による売上総利益の増加により、大幅な増益となりました。

上記報告セグメントのほか、当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品等の販売を行っており、これらの売上収益は93億円（前年同四半期比2.3%減）、コアセグメント利益は11億円（前年同四半期比32.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産については、非流動資産では、繰延税金資産等が増加したものの、のれんや無形資産等が為替換算などにより減少した結果、前連結会計年度末に比べ61億円減少しました。

流動資産は、営業債権及びその他の債権や現金及び現金同等物等は増加しましたが、短期貸付金の減少によりその他の金融資産が減少した結果、前連結会計年度末に比べ106億円減少しました。

これらの結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ167億円減少し、1兆2,362億円となりました。

負債については、引当金は増加しましたが、未払法人所得税や営業債務及びその他の債務が減少した結果、前連結会計年度末に比べ214億円減少し、5,994億円となりました。

親会社の所有者に帰属する持分は、在外営業活動体の換算差額等のその他の資本の構成要素は減少しましたが、利益剰余金が増加した結果、前連結会計年度末に比べ116億円増加し、5,410億円となりました。また、非支配持分は、スミトバント社傘下の非支配持分を有する子会社の業績が損失となったため、前連結会計年度末に比べ69億円減少しました。

これらの結果、資本合計は前連結会計年度末に比べ47億円増加し、6,368億円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の親会社所有者帰属持分比率は43.8%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益が減少したことや法人所得税の支払額が増加したことにより、前年同四半期に比べ77億円収入が減少し、5億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、短期貸付金の減少などにより、前年同四半期に比べ49億円収入が増加し、215億円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額は減少したものの、非支配持分からの子会社持分取得による支出があったことなどにより、前年同四半期に比べほぼ横ばいの、93億円の支出となりました。

上記の結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は1,134億円となり、前連結会計年度末に比べ117億円増加しました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向を踏まえ、2020年5月13日に公表した2021年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しました。

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上収益	コア 営業利益	営業利益	当期利益 又は 損失(△)	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	510,000	33,000	24,000	△14,000	7,000	17.62
今回修正予想(B)	495,000	33,000	24,000	△12,000	9,000	22.65
増減額(B-A)	△15,000	—	—	2,000	2,000	—
増減率(%)	△2.9	—	—	—	28.6	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	482,732	71,982	83,239	35,918	40,753	102.58

(注) コア営業利益は、営業利益から条件付対価公正価値の変動額、減損損失および事業構造改善費用等の非経常的な要因により発生した損益を控除して算出しています。

前回発表予想では、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響を織り込んでいませんでしたが、現時点で想定できる影響を織り込みました。

売上収益は、米国における失業率の上昇など、新型コロナウイルス感染症の影響により減少を見込むことから、前回発表予想から150億円減の4,950億円に修正しました。

売上収益の減少に伴い、売上総利益は減少しますが、販売費及び一般管理費についても、新型コロナウイルス感染症の影響による活動の制限などにより減少を見込むことから、コア営業利益および営業利益は、前回発表予想を変更していません。

当期利益および親会社の所有者に帰属する当期利益は、法人所得税の減少を見込むことから、前回発表予想からそれぞれ20億円増の△120億円、90億円に修正しました。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後さまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

【要約四半期連結損益計算書】

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上収益	117,484	133,857
売上原価	28,953	35,970
売上総利益	88,531	97,887
販売費及び一般管理費	27,887	49,012
研究開発費	20,056	25,744
その他の収益	393	335
その他の費用	558	195
営業利益	40,423	23,271
金融収益	1,430	645
金融費用	4,945	1,937
税引前四半期利益	36,908	21,979
法人所得税	30,205	6,413
四半期利益	6,703	15,566
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	6,703	18,259
非支配持分	—	△2,693
四半期利益	6,703	15,566
1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益	16.87	45.96

【要約四半期連結包括利益計算書】

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期利益	6,703	15,566
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の変動	△2,203	△231
純損益にその後に振り替えられる可能性の ある項目：		
在外営業活動体の換算差額	△5,624	△5,026
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△30	11
その他の包括利益合計	△7,857	△5,246
四半期包括利益合計	△1,154	10,320
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者持分	△1,154	14,222
非支配持分	—	△3,902
四半期包括利益合計	△1,154	10,320

(2) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	65,748	64,518
のれん	169,046	167,336
無形資産	421,791	416,318
その他の金融資産	200,923	201,440
その他の非流動資産	4,173	4,117
繰延税金資産	27,107	28,980
非流動資産合計	888,788	882,709
流動資産		
棚卸資産	79,368	78,978
営業債権及びその他の債権	134,491	137,355
その他の金融資産	28,717	3,797
未収法人所得税	5,877	7,447
その他の流動資産	9,624	8,219
現金及び現金同等物	101,708	113,378
小計	359,785	349,174
売却目的で保有する資産	4,305	4,305
流動資産合計	364,090	353,479
資産合計	1,252,878	1,236,188

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債及び資本		
負債		
非流動負債		
借入金	25,020	24,280
その他の金融負債	41,306	42,083
退職給付に係る負債	23,870	23,952
その他の非流動負債	7,212	5,466
繰延税金負債	26,867	26,627
非流動負債合計	124,275	122,408
流動負債		
借入金	272,960	272,960
営業債務及びその他の債務	62,251	54,020
その他の金融負債	13,906	13,709
未払法人所得税	22,637	9,543
引当金	84,644	90,369
その他の流動負債	40,100	36,385
流動負債合計	496,498	476,986
負債合計	620,773	599,394
資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	14,655	17,546
自己株式	△677	△677
利益剰余金	457,330	470,027
その他の資本の構成要素	35,777	31,740
親会社の所有者に帰属する持分合計	529,485	541,036
非支配持分	102,620	95,758
資本合計	632,105	636,794
負債及び資本合計	1,252,878	1,236,188

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の変動	確定給付負債(資産)の純額の再測定
2019年4月1日残高	22,400	15,861	△674	431,799	32,611	—
四半期利益	—	—	—	6,703	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△2,203	—
四半期包括利益合計	—	—	—	6,703	△2,203	—
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	—
配当金	—	—	—	△7,549	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	95	△95	—
所有者との取引額等合計	—	—	△1	△7,454	△95	—
2019年6月30日残高	22,400	15,861	△675	431,048	30,313	—
2020年4月1日残高	22,400	14,655	△677	457,330	46,118	—
四半期利益	—	—	—	18,259	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△231	—
四半期包括利益合計	—	—	—	18,259	△231	—
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—
配当金	—	—	—	△5,562	—	—
非支配持分との取引	—	2,891	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	2,891	△0	△5,562	—	—
2020年6月30日残高	22,400	17,546	△677	470,027	45,887	—

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			合計	非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		合計			
	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ				
2019年4月1日残高	△3,853	△6	28,752	498,138	－	498,138
四半期利益	－	－	－	6,703	－	6,703
その他の包括利益	△5,624	△30	△7,857	△7,857	－	△7,857
四半期包括利益合計	△5,624	△30	△7,857	△1,154	－	△1,154
自己株式の取得	－	－	－	△1	－	△1
配当金	－	－	－	△7,549	－	△7,549
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	－	－	△95	－	－	－
所有者との取引額等合計	－	－	△95	△7,550	－	△7,550
2019年6月30日残高	△9,477	△36	20,800	489,434	－	489,434

2020年4月1日残高	△10,312	△29	35,777	529,485	102,620	632,105
四半期利益	－	－	－	18,259	△2,693	15,566
その他の包括利益	△3,817	11	△4,037	△4,037	△1,209	△5,246
四半期包括利益合計	△3,817	11	△4,037	14,222	△3,902	10,320
自己株式の取得	－	－	－	△0	－	△0
配当金	－	－	－	△5,562	－	△5,562
非支配持分との取引	－	－	－	2,891	△2,960	△69
所有者との取引額等合計	－	－	－	△2,671	△2,960	△5,631
2020年6月30日残高	△14,129	△18	31,740	541,036	95,758	636,794

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	6,703	15,566
減価償却費及び償却費	4,255	4,408
条件付対価公正価値の変動額	△18,461	1,238
受取利息及び配当金	△1,429	△645
支払利息	75	429
法人所得税	30,205	6,413
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△2,938	△3,492
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,165	△668
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	1,799	△7,734
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	169	89
引当金の増減額 (△は減少)	△2,781	6,573
その他	4,277	1,003
小計	20,709	23,180
利息の受取額	638	108
配当金の受取額	596	541
利息の支払額	△54	△414
法人所得税の支払額	△13,642	△22,898
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,247	517
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,495	△1,063
有形固定資産の売却による収入	307	130
無形資産の取得による支出	△641	△721
投資の取得による支出	△1,322	△2,978
投資の売却及び償還による収入	253	323
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	20,550	25,684
その他	23	158
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,675	21,533
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△740	△740
リース負債の返済による支出	△1,114	△1,204
配当金の支払額	△7,465	△5,486
非支配持分からの子会社持分取得による支出	—	△2,269
その他	△1	365
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,320	△9,334
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	15,602	12,716
現金及び現金同等物の期首残高	137,296	101,708
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,932	△1,046
現金及び現金同等物の四半期末残高	148,966	113,378

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税は、見積年次実効税率を基に算定しております。

(セグメント情報等)

当社グループでは、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。

「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下「非経常項目」）を除外したものとなります。非経常項目として除かれる主なものは、減損損失、事業構造改善費用、企業買収に係る条件付対価公正価値の変動額等です。

(1) 報告セグメント

当社グループは、主として医療用医薬品の製造、仕入及び販売を行っており、日本、北米、中国等マーケットごとに医薬品事業の業績管理を行っているため、日本、北米、中国、海外その他の4つを報告セグメントとしております。

なお、当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成要素のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

(2) セグメント収益及び業績

当社グループの報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失及びその他の項目は、以下のとおりであります。

なお、当社グループでは、各セグメントの経常的な収益性を示す利益指標として、「コアセグメント利益」を設定し、当社独自のセグメント業績指標として採用しております。

「コアセグメント利益」は、「コア営業利益」から、グローバルに管理しているため各セグメントに配分できない研究開発費、事業譲渡損益等を除外したセグメント別の利益となります。

なお、「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」における報告セグメントに含まれない「その他」の区分に係るコアセグメント利益の金額及び前年同四半期比増減については、セグメント間取引として消去された利益を含めて記載しております。

① 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
外部顧客への売上収益	32,629	65,984	6,838	2,470	107,921	9,563	117,484
セグメント間の内部売上 収益	18	—	—	—	18	10	28
合計	32,647	65,984	6,838	2,470	107,939	9,573	117,512
セグメント利益 (コアセグメント利益)	7,256	29,493	3,806	925	41,480	810	42,290

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品等の事業を含んでおります。

② 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
外部顧客への売上収益	39,746	74,133	5,128	5,508	124,515	9,342	133,857
セグメント間の内部売上 収益	18	—	—	—	18	12	30
合計	39,764	74,133	5,128	5,508	124,533	9,354	133,887
セグメント利益 (コアセグメント利益)	8,027	35,879	2,702	2,424	49,032	1,080	50,112

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物及び化学製品材料、動物用医薬品等の事業を含んでおります。

(3) 報告セグメント合計額と要約四半期連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

調整額に関する事項は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

売上収益	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
報告セグメント計	107,939	124,533
「その他」の区分の売上収益	9,573	9,354
セグメント間取引消去	△28	△30
要約四半期連結財務諸表の売上収益	117,484	133,857

(単位：百万円)

利益	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
報告セグメント計	41,480	49,032
「その他」の区分の利益	810	1,080
セグメント間取引消去	5	1
研究開発費(注)	△20,046	△25,744
事業譲渡益等	35	—
その他	△9	△2
コア営業利益	22,275	24,367
条件付対価公正価値の変動額	18,461	△1,238
その他の収益	367	337
その他の費用	△558	△195
その他	△122	—
要約四半期連結財務諸表の営業利益	40,423	23,271

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。なお、要約四半期連結損益計算書における研究開発費との差額は、コア営業利益の算定から除外される研究開発関連費用であります。